



『活きていることわざ』

船橋市議会議員（無所属・4期）

神田 廣栄（かんだひろえい）市議会報告

【事務所】

船橋市前原西8-24-8

☎047-490-3333

Fax 465-7117

Eメール hiroei@muc.

biglobe.ne.jp

ホームページ <http://www.hiroei.jp>

hiroei.jp

夜郎自大（やろうじだい）・善は急げ

【夜郎自大】◇自分の力量を知らずに、仲間のうちで威張っていること。実力もないのに尊大に振る舞うたとえ。

【解説】「夜郎」は、昔、中国西南部にいた部族。「自大」は、みずからおごりたかぶること。地方部族の中では比較的強かった「夜郎」が漢の強大さを知らずに威張っていたという故事から。

【善は急げ】◇善（よ）と思ったら、ためらわずに即座に実行に移すべきだ、ということ。

【参考】この後ろに「悪は延べよ＝後にしろ」と続く。

国会では意味不明の衆議院解散となりました。今号を書いた日（28日）のことです。10月10日公示、22日投票日です。現地点では結果は分かりませんが、私は、森友、加計学園疑惑に対して、国民に懇切丁寧に説明すると大見えを切った安倍首相が、説明責任を逃れるための解散をした、と思っています。異常な北朝鮮に対する国防問題、2年後の消費税10%への言い訳などは、後づけ口実そのものです。また税金が浪費されてしまいます。

この時期は、他市の市議会第3定例会（9月議会）は、ほとんど閉会となっていますが、船橋市議会の閉会は10月5日です。本日開催の議会運営委員会で、明日29日の本会議で、今回の衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査を執行するための補正予算が提案され、即日採決することになりました。そして、29日の本会議で他の議案に先駆けて審議・採決が行われ、全会一致で可決されました。



人間性が大切です

ちなみに、提案された補正予算額は1億円5680万円と大きな金額です。これは、ポスター掲示設置代金、人件費などです。但し、全額が県支出金です。市でも県でもどちらにしても税金からの支出です。

この選挙で与党が3分の2を占めるのか、自民党が過半数に達するのか、はたまた政権交代が起こるのか、現地点では分かりませんので、これ以上コメントはしません。しかし、国民を欺（あざむ）かず、国民の痛みの分かる政党に政権を担ってもらいたいものです。

また税金支出の話です。3定が閉会し、4定が開会する11月下旬までの間は、本市に限らず、全国の議会で、他県への行政視察が真っ盛りとなります。



船橋市議会では、5つの常任委員会（延べ50人）、議会運営委員会（15人）、広報委員会（15人）の委員一人あたり、年額128,100円の予算があります。今は国内ですが、以前は海外視察もありました。但し平成12年度以降は実施を見送っています。見送っているということは、無くなったのとは全く違います。「世間の目」を気にして海外に行きにくくなったの事と思っています。

この行政視察については、かなり前にも書きました。視察内容は後づけで、まず「どこに行こうか」が先ではなかったのか、というようなことを書きました。

また、公費での視察でありながら、「旅費が安くあがった」ということで、数万円も議員個人に戻す慣習がありました。私が議員になりたての時に、そんなことがあり「旅費は自己負担でないのに、何故戻す必要があるのか」と食いつき、現在はそのようなことは無くなっています。

何れにしても「税金の有効活用」をしたいと思っています。1泊2日や2泊3日で行かなくても、日帰りでも十分な視察ができるところがあるはずです。特に、広報委員会など、視察の必要があるのかとさえ思っています。編集の良くてきた他議会の広報紙は、現地に行かなくても簡単に手に入れます。まことしやかな理由をつけて行くような視察には絶対反対です。

議会では「神田はいつも文句ばかり言っている」が定着しそうです。しかし、私と同じような考えを持っている議員もいると思っていますが、流れに逆らえ切れないのか、表だつての発言は全く聞かれません。

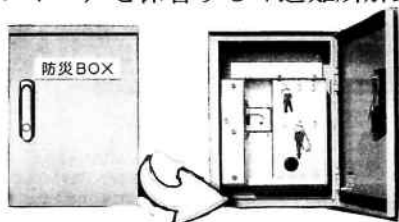
議会では、地方自治法がどうのこうの、「もっと勉強しろ」と言っている人もいますが、私たち議員は「語る」ことではなく、より良い市民生活がおくれるよう「実践する」ことが重要です。当然のことながら、議員は皆様の代弁者です。さらに、議長も偉いではありません。勘違いしている人もいます。議長になったら特別な人間になったかのように錯覚する人がいます。経験者として言わせて戴くと、「議長職」に敬意を払っているのであつて、議長になった人が特に立派な人物だ、ということではないのだと良く分かりました。自戒を込めて『夜郎自大』に気をつけなければなりません。



これからは、9月議会で行った質問から「防災対策について」をご報告します。

◇避難所の学校の鍵あけについては、いつも問題になります。平日の日中なら学校には先生や生徒たちもいて、体育館や昇降口は開放されていますから、万一の場合でも入室できますが、夜間や学校休日の日に大地震などの災害が発生した場合、鍵を持っている人が来ないと中には入れません。混乱が目に見えます。

そんな中、NHK TVやベイFMで、富津市では、避難所の入り口の外壁に、鍵（スペアキー）を保管する「避難所解錠ボックス」（緊急用スペアキー保管ボックス）を設置していることが放送されました。早速視察に行つて現物を確認してきました。震度5弱で自動で解錠できるそうで、中には、スペアキー、懐中電灯、避難所の安全点検表が入っていました。悪戯(いたづら)されても大丈夫になっているそうです。



船橋市でも早急に設置すべきではないか、と質問しました。

— 公室長の答弁 —

本市では、夜間・休日において、市内で震度5強以上の地震が発生した場合、30分程度で参集できる職員を非常参集職員と任命し、その班長が避難所の鍵を保有しています。また、学校では緊急時のマニュアルに沿って教師が駆けつけ、鍵を解錠することになっています。

議員ご提案の避難所解錠ボックスは、導入例がいくつもあるということですので、先進事例を調査し、メリット・デメリットを整理して、関係部局と協議してまいります。

と前向きな答弁を戴きました。デメリットは考えられないので、『善は急げ』早急に設置してもらいたいと要望しました。

※今号は、衆議院議員選挙がありますので、駅頭配布は止め、HPのみとしました。